

誠心 まごころ

第14号
2022年7月1日発行

発行
医療法人社団 誠広会
平野総合病院



地域医療連携センター

地域医療連携センター

次長 北村きみ子

医療法人社団誠広会平野総合病院は、地域に密着した医療・看護・介護を提供する病院です。地域の皆さんに安心して安全な医療を提供出来る様、医師・看護師が、日々取り組んでいます。

3年前より新型コロナウイルス感染症が蔓延し、まだ完全に終息に到っておりません。当院も後方支援病院となり基幹病院と連携をとり患者さんの受け入れを行っています。

今回、地域連携室を「地域医療連携センター」に改名し、基幹病院・開業医との連携はもちろん、患者さんのご家族の相談にも対応出来る部署として務めます。地域の皆さんに頼られ信頼して頂けるよう職員一同頑張りますので、よろしくお願い致します。



新人職員の紹介

看護部



松尾 珠穂（東3階病棟）

患者さん・ご家族の話に耳を傾けて、どのような気持ちでいるのかを把握し寄り添っていきたいです。そのためには、まず社会人の1人として誰に対しても接遇・礼儀を正しく行っていき信頼関係を築いていけるようにしたいです。また、これから多くの技術・知識を身に付けて、患者さんが希望するケアが出来るようにし、経験を積み重ねその経験を生かしていきたいと考えています。

池 優菜（西2階病棟）

分からないことや不安なことが沢山ありますが、先輩方からのご指導のもと、日々技術や知識の向上に努め、患者さんにとって質の良い看護を提供できるようになりたいです。また、明るく笑顔で患者さんと接することを忘れずに頑張りたいです。

河合 ゆう（西2階病棟）

看護技術の向上や知識を深めるために、先輩方から頂いた助言を参考に、自宅で疾患や薬剤の学習をし、一つずつしっかりと理解していき、患者さんに「この看護師なら頼ってもいいな、安心できるな」と思ってもらえるよう日々勉強に励んでいきたいです。

高橋 みのり（西3階病棟）

入職して、学生とは違った新しい環境に慣れるだろうか、業務を覚えることができるのかなど不安に思うことがあります。先輩方や患者さんから様々な視点で日々学ばせていただいています。コロナ禍で面会が思うようにできず今までご家族にしかできなかった心身のケアを、今は看護師が一層担うべきであると思います。想像力を働かせ患者さんに寄り添い観察力をつけるとともに技術面も向上心を忘れず頑張ります。よろしくお願いします。

佐合 まなみ (西3階病棟)

まだまだ分からないことだらけですが日々たくさんの事を多くの方から学ばせて頂いています。その中で自分は本当にこのような技術が出来るようになるのか、患者さんにしっかりと接する事が出来ているのかなどの多くの不安があります。しかし私の看護師像でもある優しい看護師になる為にも一生懸命学んだ事を活かしながらケアを行い、自宅での疾患についての勉強もがんばっていきたいです。

澤田 奈々 (外来)

知識も技術も未熟ですが、細かく先輩方から指導していただき、少しずつですが出来ることが増えていると感じています。日々、多くの業務を見学や実施できる機会のある部署が外来だと思うので、積極的に学んでいきたいです。また、看護師である自覚と責任を常に持ち、患者さんから信頼される看護師になれるよう成長していきたいです。

リハビリテーション課



福田 七海 (作業療法士)

私は、今まで学生であったため、こうして働くことは初めてでわからないことや悩むことがたくさんあると思います。その為、病院憲章や基本方針にもある「患者さん並びにそのご家族の満足を得られるようにする」ことや「地域の人に信頼される病院を目指す」といったことを達成する為には、今以上の知識と技術が必要になると思っています。

これからたくさんの患者さんとの関わりを通して自分自身も少しずつ医療人としてレベルアップしていき、同時に病院にも貢献していきます。

田中 誠優 (理学療法士)

私が理学療法士になりたいと思った一番のきっかけは、可動範囲が狭くなった指や腕や足を理学療法士にしかできない技術で治している姿を見た時です。その療法士の姿が魅力的で自分もそうなりたいと感じ、医療の世界に飛び込みました。3年間の勉強を経て目標としていた理学療法士になることができ、一歩近づけたことを凄く嬉しく思います。これからも勉強に励み、より良い医療者になれるよう努力していきます。